

平成28年度 事業報告書

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

住 所 東京都文京区春日1丁目16番30号

法人名 公益財団法人 **講 道 館**

平成 2 8 年度事業報告書

【公益事業】

1. 青少年を対象とする学校講道館の運営

各種学校に認定されている学校講道館で、生徒の技能、習熟度合いに応じて柔道を技術面と態度面から指導した。技術に関する内容は、基本動作、対人技能、試合と段階的に進めた。態度に関する内容は、特に礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康・安全に関する態度及び柔道の持つ伝統的な行動の仕方などを重視し指導に当たった。

平成 2 8 年度の学校講道館の生徒数について、平成 2 6 年度、2 7 年度を挙げて 2 8 年度と比較した。

(生徒数の変遷)

(名)

	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度
柔道普通科	5 0	5 1	5 8
柔道特修科	1 4 0	1 2 8	1 0 9
柔道補習科	4 4	4 9	1 9
柔道研修科	1 9	1 8	1 8
柔道国際科	2 4	3 4	3 1
合 計	2 7 7	2 8 0	2 3 5

2. 講道館道場における柔道の指導教授

(1) 道場における指導

延べ 1 7 0 名を超す指導員・講師を配置し、各科においては、それぞれの対象の実態をふまえた上で、生徒の心身の発育、発達段階や、能力・適性、興味・関心等の実状を考慮し、柔道技術面だけにとどまることなく、礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方等を重視して修行者の指導に当たった。態度に関する内容は、柔道が我が国の伝統的な運動文化であるため、特に礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康・安全に関する態度及び柔道の持つ伝統的な行動の仕方などを重視して指導した。

(指導員・講師)

道場における修業者の指導を適切に行うため、道場指導部においては、錬成部指導員 (19 名)、成年部指導員 (29 名)、女子部指導員 (17 名) 及び大阪道場指導員 (25 名) を選任し、学校講道館では少年部講師 (23 名)、男子部講師 (42 名)、女子部講師 (11 名) 及び国際科講師 (9 名) を選任し、各部毎に指導計画、実施方法を定めて技術面、精神面にわたり指導した。特に指導に関しては柔道技術面にとどまることなく、講道館柔道が目的とするところの師範の遺訓の精神に基づいた人間形成、社会貢献を目的とした高邁な理想を目指し礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方を留意する態度などを重視して指導にあたった。

(稽古時間及び指導時間)

(本館)

(大阪)

ア. 一般稽古

午後 6 : 0 0 - 8 : 0 0

平日 男子 午後 4 : 0 0 - 8 : 0 0

女子 午後 6 : 0 0 - 7 : 3 0

土曜 男子 午後 4 : 0 0 - 7 : 3 0

女子 平日に同じ

イ. 少年指導

午後 4 : 3 0 - 6 : 0 0

午後 5 : 0 0 - 6 : 0 0

ウ. 「形」指導

毎月第 2 ・第 3 土曜日 午後 3 : 3 0 - 5 : 3 0

(2) 研修会

道場指導員、学校講道館講師に対し、年1回の全体研修会及び各部ごとの研修を実施した。また、道場指導員、学校講道館講師及び柔道高段者の資質の向上と自己研鑽に資する目的で、月1・2回の形研修を実施した。

(3) 暑中稽古及び寒稽古

暑中稽古は、講道館本館において、7月13～22日の10日間（申込者数250名 皆出席者数107名）、大阪国際柔道センターにおいて、7月25～30日の内5日間実施した。

寒稽古は、講道館本館において、平成29年1月6～15日の10日間（申込者数321名 皆出席者数155名）、大阪国際柔道センターにおいては、1月16～21日の5日間実施した。

(4) 紅白試合及び月次試合

修行者の上達度合いを確認し修行の励みとするため、紅白試合及び月次試合を行った。

○月次試合 一年間13回実施し、合計1,176名の参加者であった。

○紅白試合

春季紅白試合（平成28年6月5日）：男子448名 女子75名 少年23名 計546名

抜群者 男子4名（弐段→参段1名、初段→弐段3名）

女子1名（女子弐段→女子参段）

秋季紅白試合（平成28年10月16日）：男子425名 女子100名 少年40名 計565名

抜群者 男子0名 女子0名

大阪前期紅白試合（平成28年4月23、24日）：男子117名 女子22名 計139名

抜群者 男子2名（弐段→参段1名、初段→弐段1名） 女子0名

大阪後期紅白試合（平成28年12月17、18日）：男子111名 女子27名 計138名

抜群者 男子2名（初段→弐段2名） 女子0名

3. 学校等の柔道指導者による青少年の健全な育成に関する協議会の開催

平成28年8月16日、17日、新潟県上越市において、全国中学校柔道大会に先立ち、中体連柔道競技部の全国（47都道府県）委員長を対象として、「講道館中学校柔道指導者講習会」を開催し、柔道の教育的、体育的、精神的面から柔道を通じて次代を担う青少年の健全な育成をはかる方策について意見を交換した。また、講道館から講師を派遣し、「中学校における柔道指導者の在り方」「国際柔道連盟試合審判規定及び同少年大会特別規定」について講演を行った。

4. 柔道による青少年の健全育成に関する実践報告会及び研究会の開催

(1) 平成28年6月4日（土）に青少年の柔道普及を目的として「少年少女柔道錬成発表会」を大阪国際柔道センターで開催した。当日は、幼少年部の練習生・保護者が多数集まり、親睦を図ると共に、日頃の練習の成果を乱取・試合等を通じて披露するとともに、高段者による各種形の演技も行い、充実した催しとなった。

(2) 平成29年2月4日（土）に開催された全日本柔道少年団各地区代表者会議の場において、柔道少年団の組織の強化・活動の充実化の為の具体案や、小学校児童の健全育成の対策等について意見の交換を行った。

(3) 大阪国際柔道センター少年部の14名が本館の「少年柔道夏期講習会」に参加した。

5. 柔道による青少年の健全な育成に関する国内外諸団体との連絡、資料交換及び交流

講道館段位推薦委託団体（110団体）の会長会議を平成29年2月21日（火）に開催した。昇段登録料の消費税の取り扱いについて、初段の最少年齢について、講道館講習会等について、それぞれ説明を行い、意見交換が行われた。

6. 柔道に関する講習会の開催

(1) 夏期講習会

夏期講習会を平成28年7月15日から8月21日までの間、実施した。

*附属明細書①参照

(2) 講道館講習会

正しい柔道の一層の普及発展を図るため、本年度も本館から講師を派遣し（経費は講道館負担）、講道館講習会を実施した。派遣先は計12カ所で、講師の延べ人数は13名であった。

*附属明細書②参照

(3) 講道館形講習会

制定された正しい“形”の修得を目指してもらう為に、全国10地区毎に講道館“形”講習会を本年も実施した。派遣先は、今回は10地区(11ヶ所)で、講師は延べ44名であった。

*附属明細書③参照

(4) 青少年育成講習会

日本の将来を背負う青少年に、講道館柔道の真の理解と、柔道を通じた心身の健全な育成を目的とした「青少年育成講習会」を全国6カ所で行った。

①小樽（北海道）②久慈（岩手県）③平戸（長崎県）④石垣島（沖縄県）

⑤飛騨（岐阜県）⑥阿蘇（熊本県）

7. 柔道指導者の養成及び海外派遣並びに外国人柔道指導者等の受入れ

(1) 柔道指導者の海外派遣を、下記の通り行った。

ア. 本館による短期派遣（6ヶ国、17名）

イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣（3ヶ国、6名）

ウ. 国際柔道連盟（IJF）アカデミーへの派遣（2カ国、2名）

エ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣（1ヶ国、1名）

オ. 国際交流基金による短期派遣（5ヶ国、8名）

カ. 国際柔道連盟（IJF）、アジア柔道連盟（JUA）関係諸行事及び大会への派遣（7ヶ国、14名）

*附属明細書④参照

(2) 外国人柔道指導者等の受入れを、下記の通り行った。

ア. 平成28年度、本館において修行した外国人は男子68カ国より1,318名、女子38カ国より331名、合計で68カ国より1,649名であった。

昨年と比べ、国数においては10カ国の減、修行者数では男子220名の増、女子69名の増、全体で289名の増であった。

イ. 本館で受け入れた外国からの団体及びナショナルチームは66団体であった。

ウ. 講道館柔道国際セミナーを下記の通り開催し、海外の柔道指導者を受け入れた。

期間：平成29年3月1日～3月24日

受講者：モンゴル2名、キルギス2名、ジンバブエ2名、ブラジル2名 計8名

エ. 国際交流基金アジアセンターと本館によるアセアン各国柔道連盟会長招へい事業を行った。

期間：平成28年11月11日～16日

参加国：カンボジア、ミャンマー、タイ、フィリピン、ベトナム、シンガポール、ラオス、マレーシア、インドネシア 計9カ国18名

オ. その他来館者（デモンストレーション、賓客、取材等）

キルギス駐日大使

平成28年9月9日

サンマリノ駐日大使、柔道連盟会長

平成28年11月9日

ロシア、プーチン大統領

平成28年12月16日

フィリピンスポーツ大臣、柔道連盟会長

平成29年3月7日

イスラエル文化スポーツ大臣、駐日大使

平成29年3月29日

(3) 国際協力機構（JICA）青年海外協力隊員に関わる事業等

ア. 青年海外協力隊員技術補完研修を下記の通り実施した。

i. 期間：平成28年9月15日～29日

受講者：平成28年度3次隊研修生1名

- ii. 期間：平成 29 年 3 月 1 日～24 日
受講者：平成 29 年度 1 次隊研修生 3 名、2 次隊研修生 3 名
- イ. 本館における技術補完研修を終了して派遣されている青年海外協力隊員
平成 28 年度に任期を終了して帰国した隊員は計 10 名であった。
平成 29 年 3 月 31 日現在で赴任中の隊員は計 13 名であった。
- ウ. JICA シニア海外ボランティア
平成 27 年度に任期を終了して帰国したシニア海外ボランティアは計 0 名であった。
平成 28 年 3 月 31 日現在で赴任中のシニア海外ボランティアは計 2 名であった。
*附属明細書⑤参照

(4) 柔道器材支援

- a. 寄贈
講道館柔道器材支援として、柔道衣合計 210 着を寄贈した。
- b. 提供
支援用柔道衣として、合計 360 着の柔道衣の提供を受けた。

8. 柔道に関する調査研究

- (1) 講道館柔道科学研究会運営委員会を開催した。議題は「紀要第十六輯」の寄稿者の選考。
- (2) 講道館技研究部会は、DVD 作成及び「講道館柔道用語辞典」作成の作業を行った。
- (3) 形部門に特化して「形検討委員会」において各形の留意点作成の為の協議を行った。

9. 柔道に関する図書、雑誌等の編集発行

- (1) 雑誌「柔道」
講道館機関誌である月刊「柔道」を 4 月号 1,900 部、5 月号～3 月号各 1,500 部を毎月 1 日に発行した。
内容は講道館柔道に関する論説、講道館行事の報告、講道館主催の講習会、国内外の主要な大会、全柔連のページ、各地だより、昇段者、月次試合、科学の頁等であり、広く国内外に配布して柔道の普及発展に寄与した。
- (2) 「講道館柔道科学研究会紀要第十六輯」を発行した。

10. 柔道に関する文献資料の収集保存及び展示

- (1) 資料館
 - ア. 資料の保存環境の向上
定期的な清掃を行い、資料の保存に適した環境の維持、向上に努めた。
 - イ. 入館者数 4,520 人 (前年度比 470 人増)
国内男性 1,185 人、国内女性 400 人、海外男性 2,107 人、海外女性 828 人
総合的学習の一環として来館した学校は以下の 3 校 (事前申請のあった学校のみ記載)
 - 宮城県大和町立大和中学校
 - 愛知県西尾市立一色中学校
 - 東京都多摩市立多摩永山中学校
 - ウ. 資料収集の促進
寄贈受入 21 点
 - エ. 大会開催日等における休日開館
実施日：世界ビルサービス連盟総会 (4 月 3 日)、全国少年柔道大会合同錬成 (5 月 4 日)、全国少年大会 (5 月 5 日)、全日本柔道形競技大会 (10 月 23 日)、嘉納師範生誕祭 (10 月 29 日)、鏡開式 (1 月 8 日)

(2) 図書館

ア. 柔道関係の文献・映像資料の収集・保存・提供

- a. 和書 121 冊
- b. 洋書 33 冊
- c. 映像資料 13 点

蔵書数は和書 4,823 冊、洋書 1,125 冊の合計 5,948 冊となった。

イ. 主要な大会プログラムの収集・保存・提供

受け入れたプログラム数 55 点

ウ. 逐次刊行物（雑誌・新聞）の受入

a. 寄贈

・「柔道」講道館, 87 巻 4-12 号, 88 巻 1-3 号 2016 年 4-12 月, 2017 年 1-3 月

・「月刊武道」日本武道館, 2016 年 4-12 月, 2017 年 1-3 月

・「近代柔道」ベースボール・マガジン社, 38 巻 4-12 号, 39 巻 1-3 号 2016 年 4-12 月, 2017 年 1-3 月

b. 購入

・「武道学研究」(平成 28 年度分)

・「体育学研究」(同上)

エ. 柔道に関する調査依頼への対応

問い合わせ件数 77 件(研究者、学生、マスコミ関係者、一般等)

オ. 図書館利用者数 337 人(前年度比 415 人減)

国内男性 205 人、国内女性 25 人、海外男性 82 人、海外女性 25 人

11. 柔道の国際大会及び国内大会の開催

(1) 皇后杯全日本女子柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟による共催の全日本女子柔道選手権大会は、前年度優勝者、準優勝者等の推薦 3 名と全国 10 地区代表 34 名の計 37 名により、4 月 17 日横浜文化体育館にて開催した。

(2) 全国柔道高段者大会

4 月 28 日講道館大道場で開催した。全国から八段 30 名、七段 222 名、六段 453 名、五段 531 名、合計 1,236 名の参加があった。

(3) 全日本柔道選手権大会

本館と全日本柔道連盟による共催の全日本柔道選手権大会は、4 月 29 日に日本武道館で盛大に執り行った。出場選手は、推薦選手として前年度優勝者および準優勝者の 2 名と全国 10 地区選出の 40 名を合わせた計 42 名であった。

(4) 全国少年柔道大会

第 36 回全国少年柔道大会は 5 月 5 日講道館大道場において開催した。都道府県各 1 チーム(東京都は 2 チーム)の 48 チームが参加、試合は団体戦のみで、3 チームによる予選リーグを行い、勝ち上がった 16 チームにより決勝トーナメントで優勝を競った。

(5) 全日本柔道形競技大会

本館と全日本柔道連盟による共催の全日本柔道形競技大会は、10 月 23 日に講道館大道場で開催した。投の形・固の形・極の形・柔の形・講道館護身術・五の形・古式の形の 7 種目が行われ、全国の 10 地区代表 140 名、推薦枠 11 組 22 名および全国枠 6 組 12 名の合計 174 名により優劣を競った。

12. 柔道の段位認定

(1) 入門者

本年度の入門者は 19,689 名で昨年度に比べ 698 名の減となった。
過去 10 年の入門状況は次のとおりである。

年 度	入門者数(名)	前年比(名)	年 度	入門者数(名)	前年比(名)
H19	25,188 (男子) 21,360 (女子) 3,828	-3,090	H24	23,055 (男子) 18,995 (女子) 4,060	+326
H20	25,281 (男子) 21,345 (女子) 3,936	+93	H25	21,643 (男子) 17,543 (女子) 4,100	-1,412
H21	23,929 (男子) 19,867 (女子) 4,062	-1,352	H26	20,881 (男子) 16,927 (女子) 3,954	-762
H22	24,116 (男子) 19,949 (女子) 4,167	+187	H27	20,386 (男子) 16,400 (女子) 3,986	-495
H23	22,729 (男子) 18,680 (女子) 4,049	-1,387	H28	19,689 (男子) 15,292 (女子) 3,654	-698

(2) 外国人入門者（上記(1)の内数）

本年度の外国人入門者は63の国・地域から男子591名、女子156名の合計747名であった。

(3) 昇段者

本年度の昇段者は合計26,846名で昨年度に比べ1,142名の減となった。過去10年の昇段状況は次のとおりである。

年 度	昇段者数(名)	前年比(名)	年 度	昇段者数(名)	前年比(名)
H19	33,635 (男子) 29,224 (女子) 4,411	-4,253	H24	32,333 (男子) 27,181 (女子) 5,152	+393
H20	33,934 (男子) 29,194 (女子) 4,740	+299	H25	30,326 (男子) 25,197 (女子) 5,129	-2,007
H21	32,577 (男子) 27,706 (女子) 4,871	-1,357	H26	28,406 (男子) 23,413 (女子) 4,993	-1,920
H22	32,241 (男子) 27,161 (女子) 5,080	-336	H27	27,988 (男子) 23,061 (女子) 4,927	-418
H23	31,940 (男子) 26,833 (女子) 5,107	-301	H28	26,846 (男子) 22,042 (女子) 4,804	-1,142

13. 柔道の合宿、講習会、大会等参加者のための宿泊・休憩施設の提供

講道館で柔道の合宿、講習会、大会等が行われる場合、参加者及び指導者・運営役員等に対して宿泊や休憩のための施設を安価に提供した。28年度宿泊者は延べ総数9,961人であった(27年度9,588人)。一度の利用人数が数名から数十名と多く、また利用期間が数日から数週間と長期に亘ることもあり、宿泊・休憩施設が道場や会場と隣接していることで効率的・効果的な活動をサポートした。また、健康面、安全面、衛生面でも安心して使用して頂けるよう努力した。

【収益事業】

14. 物品販売

柔道関係の書籍・ビデオ・DVD、柔道グッズ等の雑貨、カレンダー等の刊行物を販売した。また、登録商標の使用許諾料収入等も得た。概要については下記の通り。

(1) 書籍

投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形・古式の形、昇段内規、嘉納治五郎（伝記）、JIGORO KANO AND THE KODOKAN（同伝記英語版）、講道館柔道試合審判規定、激闘の轍、百三十年沿革史、嘉納治五郎著作集（一）～（三）、嘉納治五郎（私の生涯と柔道）、嘉納師範に学ぶ、少年柔道指導法

(2) DVD

投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形、全日本柔道選手権大会激闘の轍（昭和編）・（平成編）、術から道へ
ビデオ
三船十段、鏡開式

(3) 雑貨

ネクタイ、タオル、高段者バッジ、キーホルダー、額（大）、額（小）、段マーク、短冊（精力善用・自他共栄）、色紙（精力善用 自他共栄）、額（精力善用・自他共栄）師範遺訓額（和文、英文付き、和文〈小〉）銀製バッジ（ネジ／タックピン）並バッジ（蝶ピン／ネジ／安全ピン）

(4) 刊行物

カレンダー、絵葉書

(5) その他

講道館マーク使用料 3件
売店手数料収入 1件

15. 貸室・駐車場賃貸等事業

講道館が所有する不動産の一部を店舗、病院、事務所、駐車場等として賃貸した。また、自動販売機等のサービスを有料で提供した。概要については下記の通り。

(1) 貸室

講道館本館 7階	歯科医院
本館 6階	医院
本館 5階	事務所
本館 4階	事務所
本館 2階	事務所
新館 1階・地下	物品販売
大阪国際柔道センター 1階	飲食店
3階	事務所

(2) 駐車場

講道館	8台（月極） 10台（インターネット予約サイト） 他時間貸し
大阪国際柔道センター	9台分（月極）

(3) 自動販売機、その他（ロッカー、コイントリー等）サービス

事業報告書－附属明細書

①夏期講習会

講習名	受講資格	講習の目的	期間	受講者数 (修了者数)
第1部	男子四段、女子三段以上	柔道指導者の資質の向上	7.15 ~ 7.20	306 (195)
第2部	参段以下の有段者・無段者	柔道修行の基礎の確立	7.25 ~ 7.29	270 (224)
女子柔道	女子柔道修行者	柔道修行の基礎の確立	7.25 ~ 7.28	19 (18)
少年柔道	少年柔道修行者	柔道修行の基礎の確立	8.1 ~ 8.3	259 (236)
教科柔道	柔道指導者及び教科柔道指導者	指導法の学習	8.19 ~ 8.21	34 (30)
計				888名 (703名)

② 講道館講習会

	日時	主催	会場	内容	講師
1	2016/5/3(火・祝)10:00～15:00	福島県柔道連盟	郡山市総合体育館(柔道場)	国際柔道連盟試合審判規定・同少年大会申し合わせ事項の解説	中西美智子
2	2016/5/15(日)9:00～13:00	新潟県柔道連盟	亀田総合体育館武道場	「国際柔道連盟試合審判規定」について	平野弘幸
3	2016/5/15(日)10:00～15:00	中野区柔道会	中野体育館	「柔道理論」	上村春樹
4	2016/5/18(水)10:30～12:00	鹿児島県柔道協会	鹿児島県総合体育センター 武道館	「館長講話」	上村春樹
5	2016/8/16(火)15:00～17:00	日本中学校体育連盟	ホテルセンチュリーイカヤ	中学校における柔道指導者の在り方について	野瀬清喜
	2016/8/17(水)9:00～10:00		リージョンプラザ上越インドアスタジアム	国際柔道連盟試合審判規定の考え方について	高橋健司
6	2016/9/22(木・祝)9:00～14:00	石川県柔道連盟	石川県立武道館	「柔道指導」「安全指導」についての講義と実技指導	高橋 進
7	2016/10/16(日)12:30～16:30	富山県柔道連盟	新湊アイシン軽金属スポーツセンター武道館	「基本指導・安全指導」	磯村 元信
8	2016/11/13(日)10:00～16:00	埼玉県柔道連盟	埼玉県武道館	「投の形」	南保徳双
9	2016/12/11(日)9:30～15:30	札幌柔道連盟	北海道立総合体育センター	「柔の形」	鮫島 元成
10	2017/2/4(土)10:00～14:00	全日本柔道少年団	講道館新館2階教室	少年柔道と異文化体験について	向井幹博
				(質疑応答)	向井幹博
				少年柔道試合と審判規定について	向井幹博
11	2017/2/5(日)16:00～17:00	新潟県柔道連盟	割烹の宿 湖畔	講道館柔道の基本	鮫島 元成

③ 講道館形講習会

	日時	主催	会場	講師 ・ 形			
				投の形	極の形	柔の形	古式の形
1	5月7日(土)	東京	講道館	小志田 憲一	片田 誠	永井 多恵子	佐藤 正
2	5月8日(日)	中国	広島県立総合体育館	仮屋 力	向井 幹博	宇津木俊博	宗 義明
3	5月8日(日)	東海	浜松市武道館	山本 三四郎	長谷川 育男	尾形 敬史	村田 直樹
4	5月15日(日)	北海道	北海道立総合体育センター武道室	南保 徳双	鮫島 元成	小俣 幸嗣	榎 義治
5	5月22日(日)	東北	福島・柏葉体育館	藤田 真郎	下山 陽邦	眞喜志 慶治	宗 義明
6	5月22日(日)	四国	ソイジョイ武道館	南保 徳双	福島 美智男	永井 多恵子	山本 四郎
7	5月28日(土)	近畿	大阪・講道館大阪	山本 三四郎	向井 幹博	鮫島 元成	佐藤 正
8	6月11日(土)	北信越	石川	南保 徳双	下山 陽邦	尾形 敬史	小野沢 弘史
9	6月26日(日)	九州 (北部)	長崎 佐世保	道場 良久	向井 幹博	片田 誠	宇津木俊博
10	7月2日(土)	関東	埼玉武道館	仮屋 力	小志田 憲一	榎 義治	村田 直樹
11	8月28日(日)	九州 (南部)	宮崎	鮫島 元成	眞喜志 慶治	福島 美智男	福島 美智男

④海外派遣

ア. 本館による短期派遣

- 八段 鮫島元成、六段 南保徳双
タイ（少年指導および昇段試験） 平成 28 年 5 月 7 日～11 日
- 八段 福島美智男、八段 佐藤正、八段 宗義明、八段 村田直樹、女子七段 永井多恵子
六段 仮屋力
フランス（コートダジュール） 講道館形講習会 平成 28 年 7 月 21 日～27 日
- 八段 藤田真郎 八段 村田直樹
マルタ（世界形選手権大会及び IJF 形講習会） 平成 28 年 10 月 1 日～4 日
- 八段 藤田真郎、七段 山本三四郎
シンガポール（昇段審査） 平成 28 年 12 月 16 日～19 日
- 八段 鮫島元成、六段 南保徳双
タイ（セミナー） 平成 28 年 12 月 21 日～25 日
- 八段 鮫島元成、八段 藤田真郎、七段 向井幹博
ドイツ（講道館形講習会） 平成 29 年 3 月 2 日～8 日

イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣

- 八段 宇津木俊博、八段 鮫島元成
オーストラリア（OJU 形講習会） 平成28年9月6日～10日
- 七段 川島一見、女子五段 福見友子
香港（審判・コーチングセミナー） 平成 28 年 10 月 28 日～31 日
- 三段 大村慎太郎
シンガポール（合同練習） 平成 29 年 3 月 28 日～4 月 11 日
- 三段 瀧本庸平
シンガポール（合同練習） 平成 29 年 3 月 28 日～4 月 18 日

ウ. IJF アカデミー への派遣

- 七段 向井幹博
ハンガリー 平成28年5月14日～22日
- 六段 仮屋力
ハンガリー 平成29年1月28日～2月4日

エ. 海外柔道連盟招聘による本館長期派遣

- 四段 千原慎太郎
中国 平成 26 年 4 月 1 日～29 年 10 月 1 日

オ. 国際交流基金による短期派遣

- 七段 山崎正義、七段 眞喜志慶治、六段 内村直也、五段 海老沼聖
カザフスタン、タジキスタン、キルギス（剣道4名同行） 平成28年10月18日～28日
- 八段 柏崎克彦、六段 神田博彰、五段 下山陽邦、五段 河原正太
ウズベキスタン、トルクメニスタン（空手4名同行） 平成 28 年 10 月 30 日～11 月 8 日

カ. IJF、JUA 諸会議及び大会への派遣

- 上村春樹館長、大辻広文
ハンガリー（グランドスラム・ブダベスト） 平成 28 年 6 月 23 日～28 日

- 上村春樹館長、大辻広文
リオデジャネイロ（リオ五輪競技・IJF 理事会） 平成 28 年 8 月 2 日～15 日
- 上村春樹館長、南保徳双
講道館柔道創始者 嘉納治五郎師範 サハリン州来島記念 柔道大会 平成 28 年 9 月 24 日～28 日
- 上村春樹館長、大辻広文
マルタ（世界形選手権大会及び IJF 形講習会） 平成 28 年 10 月 1 日～4 日
- 上村春樹館長、仮屋力
アブダビ（グランドスラム・アブダビ+ IJF 理事会） 平成 28 年 10 月 26 日～11 月 3 日
- 上村春樹館長、仮屋力
フランス（グランドスラム・パリ） 平成 29 年 2 月 9 日～14 日
- 上村春樹館長、仮屋力
フランス（J. R. ルージェ仏柔連会長叙勲祝賀会（於 日本大使公邸））
平成 29 年 2 月 28 日～3 月 3 日

⑤ J I C A（国際協力機構）青年海外協力隊員に関わる事業

ア. J I C A（国際協力機構）青年海外協力隊員技術補完研修を下記の通り実施した。

- i. 期間 : 平成 28 年 9 月 15 日～29 日
受講者 : 平成 28 年度 3 次隊 1 名
参段 藤中拓馬
- ii. 期間 : 平成 29 年 3 月 1 日～24 日
受講者 : 平成 29 年度 1・2 次隊 6 名
参段 大道祐二郎、女子参段 小泉陽菜、参段 石崎匡晃
参段 佐々木浩太郎、参段 花田健悟、参段 大村慎太郎
特別受講生 : 参段 齋藤太成、参段 瀧本庸平

イ. 本館における技術補完研修を終了して派遣されている J I C A（国際協力機構）青年海外協力隊員
平成 28 年度に任期を終了して帰国した隊員（計 10 名）

女子参段 秋山日向子（ヨルダン）	参段 江波戸亮介（タンザニア）
参段 堀内芳洋（ブータン）	参段 狩野貴大（ペルー）
女子参段 星山幸美（モンゴル）	参段 森田直也（モンゴル）
参段 飯塚佑（ガーナ）	参段 門脇直生（ウズベキスタン）
参段 清水龍一（ネパール）	参段 平川正康（タンザニア）

平成 29 年 3 月 31 日現在で赴任中の隊員（計 13 名）

参段 関口裕喜（ガボン）	参段 小林大起（チリ）
参段 射手矢弦太（パナマ）	参段 江口吹樹（サモア）
参段 水野泰晴（マダガスカル）	参段 村山寛（ラオス）
参段 松本慎平（パラグアイ）	参段 岩永憲門（ペルー）
参段 藤原巧（ジンバブエ）	参段 荒田幸里（ラオス）
参段 森孝臣（ドミニカ共和国）	女子参段 内田美優（ブータン）
参段 藤中拓馬（インドネシア）	

ウ. J I C A（国際協力機構）シニア海外ボランティア

平成 28 年度に任期を終了して帰国したシニアボランティア（計 0 名）

平成 29 年 3 月 31 日現在で赴任中のシニアボランティア（計 2 名）

七段 山縣住雄（アルゼンチン）	六段 三野正二郎（コスタリカ）
-----------------	-----------------